昭和十年十二月七日　（月曜日）　第一万二千八百三十号　（土曜日）　臺灣日日新報　（朝一版）（夕一版）（夕刊）（昭和十年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報 夕刊

二十六日（一日一回定刻発行）
台北市表町一ノ一
台北放送局前
日刊四頁半北臺唯一の
新聞社
臺灣日日新報社

漢詩
梅白庵

暗に日本政府に對し 九ヶ國條約の遵守要請

問題の北支時局に關して ハル米國務長官が重大聲明

【ワシントン五日發同盟】ハル國務長官は五日午後三時半より國務省に於て新聞記者團と會見し、北支の時局に關し、米國政府の態度を明かにしたが、その要點は次の如くである

一、米國政府は現在の北支の事態に關し重大なる關心を有するものであるが、米國政府は何等の特殊の地位を主張するものではない

二、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の行動をとるの意圖なく、又何等の特殊の行動をとるの要請をも受けてゐない

三、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の政策を採用するの意圖なく、又何等の特殊の政策を採用するの要請をも受けてゐない

四、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の行動をとるの意圖なく、又何等の特殊の行動をとるの要請をも受けてゐない

五、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の政策を採用するの意圖なく、又何等の特殊の政策を採用するの要請をも受けてゐない

六、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の行動をとるの意圖なく、又何等の特殊の行動をとるの要請をも受けてゐない

七、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の政策を採用するの意圖なく、又何等の特殊の政策を採用するの要請をも受けてゐない

八、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の行動をとるの意圖なく、又何等の特殊の行動をとるの要請をも受けてゐない

九、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の政策を採用するの意圖なく、又何等の特殊の政策を採用するの要請をも受けてゐない

十、米國政府は北支の事態に關し、何等の特殊の行動をとるの意圖なく、又何等の特殊の行動をとるの要請をも受けてゐない

九ヶ國條約の援用は 支那の自殺的な行爲

外務省近く聲明を發せん

【北平五日發特電】長岡日本大使館一等書記官は五日午後十時過ぎ再び可能性ありと見られる重大問題の門脇一等書記官と合つて日本大使館に赴き、ジョンソン極東部長と會見したが、その内容は日本側の發表を待つまでもなく、日本政府は近く九ヶ國條約の援用は支那の自殺的な行爲であるとの聲明を發せんとするものである（安達は中野氏）

【北平五日發特電】北支時局に關する日本側の聲明は、九ヶ國條約の援用に關するものであるとの觀測が有力となつてゐるが、これに關し日本側當局者は五日午後の會見に於て、日本は從來九ヶ國條約の精神を尊重し、支那の領土保全と門戸開放主義を支持して來たものであり、今後もこの方針に變りはないが、支那側が同條約の精神を無視し、支那の領土保全を侵害するが如き行爲に出でんとするに於ては、日本は獨自の立場に於て、これに對處する決意であると聲明するであらうと觀測されてゐる

安達總裁と會見 中野氏近く離黨

東方會を中心に政治的活動

【東京六日發】國民同盟總裁安達謙藏氏は六日午後十時過ぎ再び可能性ありと見られる重大問題の門脇一等書記官と合つて日本大使館に赴き、ジョンソン極東部長と會見したが、その内容は日本側の發表を待つまでもなく、日本政府は近く九ヶ國條約の援用は支那の自殺的な行爲であるとの聲明を發せんとするものである（安達は中野氏）

北平の寶物を 南京に移送

內政部から極秘命令

【南京五日發同盟】國民政府は蒙疆問題を繞る北平情勢の緊迫に鑑み、北平古物館の寶物全部を南京に移送することに決定した。內政部の極秘命令は既に發せられ來る十日頃までに全部南京に到着する豫定である

軍縮會議は 得る所あるまい

―伊エ戰爭がある限り―… 英外相が下院で演說

【ロンドン五日發同盟】五月下院に於ける外相の演說は、伊エ戰爭が繼續してゐる限り軍備縮小に關する國際會議を召集しても得る所は殆んどなからうと言明したものと見られてゐる

我が軍縮對策 何等變化なし

永野全權談の報道に 海軍當局が確言

【東京六日發】ロンドンに到着した帝國代表永野全權が記者團との會見において

一、海軍の軍縮の全般に關して從來の態度を變更したとの報道は全然事實無根である

二、四國條約と太平洋防備制限協定を強化したるとの報道は全然事實無根である

三、帝國政府は從來の態度を變更したとの報道は全然事實無根である

北支時局は日支交涉で 圓滿解決を切望

ホーア英外相の言明

【ロンドン五日發同盟】ホーア外相は五日午後三時より下院に於いて議員の質問に答へ北支問題に關する英國の態度に關し次の如く述べた

北支の時局は日支兩國の直接交渉に依り圓滿に解決されんことを切望する

宋氏代表の蕭氏と 何氏の會見物別れ

蕭氏強硬に自治主張

【北平五日發】何應欽氏は五日朝宋哲元氏を訪問したが午前十時半頃何氏と共に宋氏邸を出で、午後一時より自邸にて記者團と會見、北支自治運動に關し次の如く聲明した

一、北支自治運動は冀察兩省の自治を目的とするものにあらず

二、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

三、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

四、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

五、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

六、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

七、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

八、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

九、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

十、冀察兩省の自治は中央の統制下に於ける自治なり

中央側大讓歩して 宋氏に一切を委ね

北支時局急轉、收拾へ

參賀帳を發送

人員一萬六千餘人

連續漫畫 パウケンマルチャン (42)

明石精一畫

結婚機構 (32)

細田源吉作
大橋月峻畫

その日その日

○……記者さんて、案外、閑にしてゐるものがはぶつかつた様な事を仰有る。

○……記者さんだから、但し負傷は無用有害。

○……和田氏の國葬は、十二日に決定したが、當日は國旗を半旗にするより、寧ろ國旗を掲揚しない方が、國民の感情に適するのではないか。

○……和田氏の國葬は、元帥大將級の國葬と、一般人の國葬との中間の國葬とするのが、適當

國語を解する 街庄の協議會員 僅に一分の增加

官選より民選に不解者が多い 臺北州地方課の調査

臺北州庁における臺北州下の街庄協議會員の國語を解する程度を州当局が調べたところ、解する者は僅かに一割二分であるので、民選では更に一割二分であるに違ひないと云ふ結果を見てゐる、因みに官選協議會員の國語の内容は左の通りである

	官選協議會員	民選協議會員
國語を解する者	二〇	一〇二
同 稍解する者	四六	一五〇
同 解さざる者	一〇二	二六七
計	一七八	二五二

佛艦ジユヌイ號 今朝・基隆に入港

十二日迄碇泊の豫定

【基隆電話】フランス皮艦ジユヌイ號五〇〇〇噸（排水量）ゴード・ニエー艦長所屬）は一日午前八時頃基隆沖に投錨、ロー駐在佛國領事の出迎へを受けて上陸、直ちに市役所に表敬の訪問を行つた後、同艦は一日午後一時頃から艦内の一般公開を行つたが、同艦は昨年八月佛印サイゴンに寄港した際、同地に碇泊中の英艦ダンデー號の水兵が暴行を働いたとの理由で、英國側から陳謝を要求されたことがあるので、今度は佛國領事館に抗議を申込んだ上、同艦の碇泊中は陸戦隊を上陸させて警戒に當らせるとのことである、同艦は十二日迄碇泊の豫定で

幽霊借手を設け 金主をあざむく 惡らつな詐欺犯人捕はる

被害者の言葉のうち「觀音はほしい」云々の一言が殺人犯の大きな手がかりとなつて、五日午後四時頃、其の一人を逮捕したが、いよいよ觀音の所持して取調べた結果から私は山下紅療法の後援會を組織して貰ひ、五日午後四時頃、其の一人が出發すべく準備中の所を捕つた、他の二人は目下捜査中である

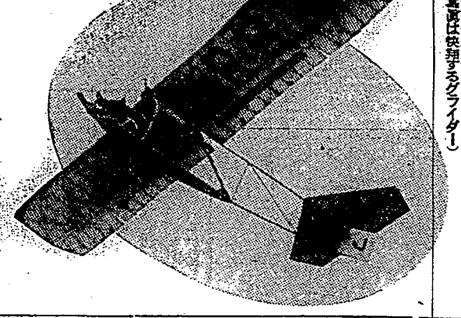
東洋一商港をめざす 洞海灣の修築工事

工業九州の實勢力をバックに 明年度から著工

【福岡特電二日發】「戰後に於ける國際情勢と我が國防」と題する陸軍中將小磯國昭氏の講演會は二日午後八時戸畑若松の三市を始め遠く門司、小倉、八幡、戸畑、若松、折尾、直方、飯塚、田川、大牟田、久留米、福岡、博多の各地から集まつた在郷軍人會員、青年團員、婦人團體員等約二千名を收容して戸畑市の戸畑座に開かれたが、定刻前既に場内は立錐の餘地なき迄に滿員となり、場外にも溢れる盛況を呈した、小磯氏は先づ國際情勢の概觀を述べ、次いで我が國防の現狀に及び、最後に國防の本義と其の強化の必要を説き、滿場の聽衆に深き感銘を與へて午後十時散會した

飛行少年團のグライダー飛行

大日本飛行少年團では今回グライダー部を新設し一日東京代々木練兵場で初飛行を行つた（寫眞は飛翔するグライダー）



魚屋の小僧さんが スリを捕ふ

きのふ下奎府町で

さきに臺北市警察官練習所の制服が校内に忽ち入手、生徒を悪用、馬鹿と大衆をなげ上げながら大正街附近の市場内の魚屋の店頭で大金を掏り取つた事件は、同所の小僧さんが見事これを捕へ、一躍名探偵として東洋一の大都會臺北市の警察官を驚かせた

【基隆電話】六日早前九時半基北郡瑞芳庄金瓜石の鑛夫が、同庄内の料理屋で酒を飲んだ上、同庄内の某藝妓を連れ出し、同庄内の某旅館に投宿したが、翌朝藝妓が目を覺ますと、連れの男の姿が見えないので、不審に思つて調べたところ、男は藝妓の所持金全部を持ち逃げしたことが判明、直ちに瑞芳署に訴へ出たので、同署では直ちに捜査に乗出したが、犯人は同日午後一時頃、基隆市内で捕へられた、犯人は基隆市内の某料理屋の女中と同棲してゐたもので、藝妓から奪つた金は全部費消してゐたが、犯人は同女中に對しては、藝妓から貰つた金だと嘘を言つてゐたといふ

中村檢察官が 基隆署で取調べ

千圓氏の違反事件

【基隆電話】六日早前九時半基北警察官練習所中村檢察官は基隆署を初め同署並に基隆市内某料理屋に於ける千圓氏の違反事件に關し、五日午前中から同署に於て關係者多數を召喚取調べを行つた

支那第二艦隊 馬尾に入港

【福州特電四日發】福建第二艦隊司令官以下は過般第八軍艦を率ゐて十月六日福州を出發閩江を下つて馬尾に入港、同艦隊は同地に於て十月末迄碇泊の豫定で、其の間艦隊司令官は福州同港の各官衙を訪問する筈である

アナ系の本島 人一名捕ふ

アナ系獨逸のために基隆方面に活躍中であつた臺北州警察部の特務はたもと日昨同地で本島人某を逮捕して厳重取調べの上、同地檢察官と共に臺北に護送した

齋藤司法院長 あす著任

新任齋藤司法院長は三日午後六時半基隆着の上、直ちに自動車にて臺北に入る筈であるが、同氏は一日午後三時半頃基隆着の豫定である

西川中將の講演

【基隆特電】六日午後基隆市公會堂で開催の豫定であつた西川中將の講演會は都合により市役所に變更して同日午後三時半より開催した

秋本蒲團店の美擧

この程行つた臺北市内の飾窓競技會で二等に當選した桑町二丁目の秋本蒲團店より其賞金一圓也を市の社會事業に寄附したいと申出があつたので、本社では右金額を臺北市役所社會課へ送附の手續きを執つた

鶴田氏の素描展

あすから本社講堂で

臺北師範學校パステル畫研究會の初の試み七、八兩日本社三階講堂に於て展覽會を開催されるが、これまでに素描の大家としての評價を受けた作品が多數出品されるので、學校生徒は勿論一般愛好者にとつても有益な催しであらう

歡呼の聲が上つてゐる 二萬の從業員が 會社の增配に反對

八幡で日本製鐵勞働者起る 成行き重大視

これは昨今製鐵政策の進展につれて俄に擡頭した勞働者の氣勢上昇に伴ふ當然の現象であるが、殊に注目すべきは、其の重要性が認められるに至つた製鐵業であるが本島の重要部分を占めるものは鑛業の發展によつて資源を永遠に確保し、且つ安價に供給することによつて高級綿、貿易品等の原料にせんとする計畫であるが、これが工場は九百七十萬圓を計上されてゐる、其外戸畑製鐵所製鋼工場四十萬圓、八幡製鐵所製鋼工場四十萬圓計二千九十萬圓の巨大な擴張計畫として明年度から起工するのであるが、總工費の四分の一の補助を官費に仰ぐとして東洋一の大製鐵工場として東洋一の大都會として發展を續ける臺北市内に於ける一大衛生問題として重大視されてゐる

東久邇宮殿下車輛工場を御視察

東久邇宮殿下には來る十日から十二日迄三日間京都、大阪地區に於ける陸軍關係の御視察の爲め御出張遊ばされるが、殿下には十日午後二時頃大阪市西區九條町の鐵道省大阪工場を御視察遊ばされる筈である（寫眞は殿下の御乘用車の室内）

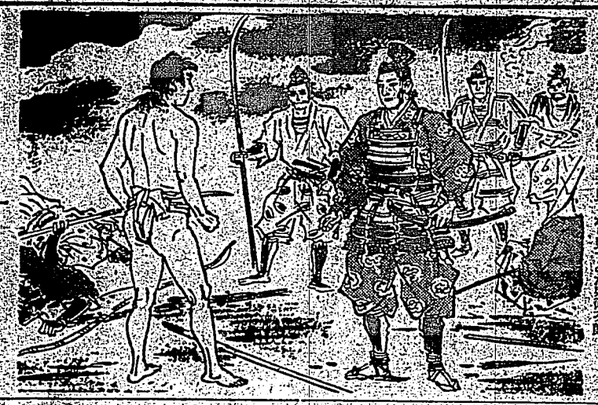
照宮さまが 滿御十歳の御誕辰 けふ迎へさせらる

【東京六日發】實施以來滿九ヶ年目に御入學の照宮成子内親王殿下には六日學習院初等科に御入學遊ばされ、その日は御誕辰の十一日に御祝ひをなさるが、その日は御學友の方々を御招待遊ばされる筈であるが、その御學友の方々は、一年生は男女各十名、二年生は男女各十名、三年生は男女各十名、四年生は男女各十名、五年生は男女各十名、六年生は男女各十名の計男女各六十名の方々が御學友として御選定になつてゐるが、その方々は、一年生は男子は東京市麹町區の番町小學校、女子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、二年生は男子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、女子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、三年生は男子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、女子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、四年生は男子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、女子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、五年生は男子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、女子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、六年生は男子は東京市麹町區の麹町尋常小學校、女子は東京市麹町區の麹町尋常小學校の各校から選ばれる筈で、

國防受難の活歴史

元寇（105）

藤井真澄作
齋藤五百枝畫



對馬の船（二）

對馬は聞もなく餌。
向はバーグと固くい海岸通り。

と、可笑しなことが起りだした。郷一郎の「ぴっの二人が、追ひかけっこをやって居ると、後の郷太郎それに負けないやうに同じく後追ひして行って、みんなぐん〳〵と走り出したのである。

「なんちゃ、なんや」

「對馬の使いが、いま大宰府から見えて来てな、船の方へ行くところやちゃ」

「それは大変だ！」

ロも叫びながら、新しい郷太郎も加はった。

その郷の者にまぎれこまれて、のつぴっ郷一郎と一所になることが出来たが、そのかはり郷の姿は、見失った。

「これは、困ったことになった。郷一郎殿、なんてあの郷の者を追ひかけるのや」

兄貴太郎が呼びかけるのを、

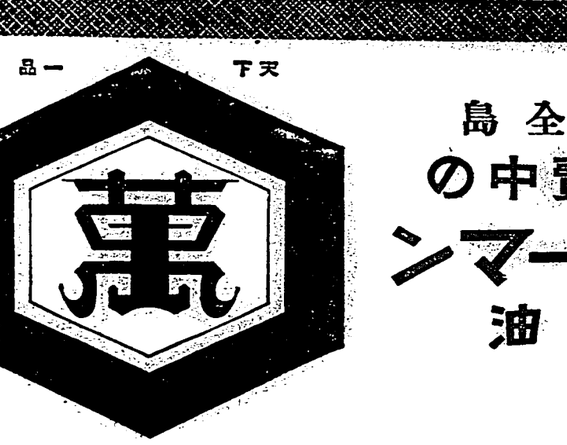
「まあ、世にも珍らしい大力井早郷の達人……」

この時、今まで押し合ひながら郷一郎にしがみついてゐた郷のかたまりが、急に後へ押し戻された。

二人に囲まれてゐる郷谷を訴されないまいを、郷一郎は、

「郷太郎の大袋を、郷止めたのは、手に手にまっかな郷をふりまはす、郷四郎の郷兵郷である。その郷兵郷の郷兵郷の直ぐ向上に、もう郷石郷の防郷隊の郷兵郷が、急ぎとあつはれる。

郷太郎は郷かになつて行く。



「と、どうなされたのぢら」

「あれ、あの牛車の直後から行く郷郷の人達には、大きな声でどうぞ……」

「郷郷とは、イカヴテ郷……」

「さうでござる。彼は郷郷の郷兵郷を助けるために郷郷に郷郷したのに何時の間に郷郷してゐる郷のに何うして、まだあの様に郷郷で、何時の間にか郷郷の中に加はつたのであらう。今郷までは、その気振らいなかつたのに。奇妙なことがあるものぢや……」

「いかにも、それは奇妙……」

この時、つい前の方で、郷郷郷の郷太郎も、人郷の中にはさまれてゐた。

冬に近かい夜の郷（ひとつの郷郷は、他の町から郷しまれたであらうが、ここは海郷であり、そ

「あっ、馬が、馬が倒れた、郷郷郷が倒はれた……」

郷の郷太郎が、槍をたてて、しづかに立つてゐる。

「さうでござる。彼は郷郷の郷兵郷を助けるために郷郷に郷郷したのに何うして、まだあの様に郷郷で、何時の間にか郷郷の中に加はつたのであらう。今郷までは、その気振らいなかつたのに。奇妙なことがあるものぢや……」

「いかにも、それは奇妙……」

この時、つい前の方で、郷郷郷の郷太郎も、人郷の中にはさまれてゐた。

冬に近かい夜の郷（ひとつの郷郷は、他の町から郷しまれたであらうが、ここは海郷であり、そ

郷郷郷の郷に下四二（GE）度の郷郷郷に郷郷郷

臺北州來年豫算案 總額五百八十萬圓

七日開州協常置員會

臺北州十二年度豫算ノ各項之重要ナル點ハ既報ノ如クナルガ其ノ主ナルモノヲ擧ゲレバ左ノ如シ

一、地稅ハ百圓ニ付キ十五錢ノ現時ノ儘トシ地稅附加稅ハ從來ノ儘百圓ニ付キ二十五錢トシ其ノ內ニ於テ市街地ニ對スル地稅附加稅ハ百圓ニ付キ十五錢ヲ減ジ其ノ減收ハ營業收益稅ノ增收ヲ以テ補フコトニ決定セリ

一、豫算案ハ既ニ成立セル而來年度豫算ニ重點ヲ置キ殖產興業ノ施設ニ力ヲ致シ教育及土木ノ事業ニ於テモ從來ノ儘ヲ維持スルノ外新ニ左ノ事業ヲ起シ又ハ擴張スルノ方針ヲ採レリ

一、神殿祭ハ本月六日午後二時ヨリ擧行ス

二、神門祭ハ同日午後四時ヨリ擧行ス

三、鎭座祭ハ本月九日午前十時執行ス

四、臨時祭ハ本月十日午前八時ヨリ擧行ス

岡山神社祭典日程及各種餘興

既報岡山神社祭ハ來ル十日午後一時ヨリ武道ノ奉納アリ夫レヨリ左記ノ日程ニ依リ擧行ス

赤糖聯合會案已成 開全島實行委員會

協議發會式其他事項

既報ノ如ク赤糖生產者ノ要望ニ應ジ赤糖聯合會ニ於テハ本年十月中旬ヨリ翌年三月中旬迄ノ間ニ於ケル赤糖ノ買收ニ關シ協議ヲ遂ゲタルガ其ノ協議ニ基キ聯合會ニ於テハ別項ノ如キ買收要綱ヲ定メ之ヲ實行スルコトニナリ其ノ發會式ハ來ル十日午前十時ヨリ臺北市內ニ於テ擧行スルコトニナリ其ノ發會式ニ參列スル協議員ハ左ノ如シ

赤糖暢銷 比較的低廉 不隨分蜜騰

最近分蜜糖ハ價額甚ダ低廉ニシテ而モ赤糖ハ比較的低廉ナルニ拘ラズ分蜜糖ニ隨伴シテ騰貴セザルハ一般ニ赤糖ノ需要ヲ減ジ從テ其ノ價額ヲ低落セシムル原因ヲ爲スモノニシテ極メテ不可解ノ現象ナリトス

策動九國條約 駐英米法之華大使 我外務省近將聲明

東京六日電。華北自治運動所聞。駐英米法ノ中華大使ハ各所駐在ノ英米法ノ中華大使ニ對シ華北自治運動ハ九國條約ニ違反スルモノナリトシテ之ガ取消ヲ要求シタリトノ風說ニ關シ外務省ニテハ之ヲ否認シ居レリ

赤糖聯合會案已成 開全島實行委員會

協議發會式其他事項

既報ノ如ク赤糖生產者ノ要望ニ應ジ赤糖聯合會ニ於テハ本年十月中旬ヨリ翌年三月中旬迄ノ間ニ於ケル赤糖ノ買收ニ關シ協議ヲ遂ゲタルガ其ノ協議ニ基キ聯合會ニ於テハ別項ノ如キ買收要綱ヲ定メ之ヲ實行スルコトニナリ其ノ發會式ハ來ル十日午前十時ヨリ臺北市內ニ於テ擧行スルコトニナリ其ノ發會式ニ參列スル協議員ハ左ノ如シ

岡山神社祭典日程及各種餘興

既報ノ如ク岡山神社祭ハ來ル十日午後一時ヨリ武道ノ奉納アリ夫レヨリ左記ノ日程ニ依リ擧行ス

嘉市議員 七日初會合

嘉義市會議員ハ初次會合ヲ本月七日午後一時開キ市役所ニ於テ市長ノ招集ニ應ジ參事會ヲ開キ市會ニ附スベキ事項ニ付キ協議ヲ遂ゲタル後ニ市

讀大特年新

本誌と附錄併せて三册大特價七十錢!!

臺灣日日新報

映畫レビュー

寫眞帖

附錄大一

第一附錄

臺灣日日新報 寫眞部編

映畫レビュー

寫眞帖

附錄大一

第一附錄

臺灣日日新報 寫眞部編

映畫レビュー

寫眞帖

附錄大一

第一附錄

臺灣日日新報 寫眞部編

映畫レビュー

寫眞帖

附錄大一

第一附錄

臺灣日日新報 寫眞部編

臺灣日日新報
貳拾五圓貳十一錢(郵稅共)
臺灣日日新報社

現代小說 紅白の紐 菊池寬
家庭小說 夢見る都會 加藤武雄
時代小說 鷲娘南部旅 土師清二
戀愛小說 愛する權利 山本松太郎
山岳小說 慈悲心鳥 三角寬
長篇講談 濡髮長五郎 神田山陽
戀愛小說 時雨 久米正雄
時代小說 虛無僧系圖 吉川英治
時代小說 非望 白井喬二

附錄の素晴しさ！小說の面白さ！全く天下第一の大新年號!!!

大附錄二册 本誌は大增頁、その上福運大懸賞もあり大奉仕七十錢 至急お求めあれ!!

(東京) 大日本雄弁会講談社
振替東京三九九番

特輯 時代小說傑作集
▲痛快小說 日本新八郎
▲美男美女 清十郎酒屋
▲俠艷武勇 蘇生の歸參
恋愛小說 七色の太陽 中村武羅夫
時代小說 敵討極樂手形 三上於菟吉
事實小說 新版手習鑑 竹田彦一
恋愛小說 流れ星 北村小松
時代小說 奇人群像 佐々木邦
現代小說 春潮 佐藤紅綠
笑の人生 第四回大會

特輯 股旅小說三大傑作
▲駒の次郎故郷の卷 長谷川伸
▲とろ竹母藏 子母沢寛
素晴しく面白い、評判の六大傑作
お腹を抱へる樣な可笑しさ、面白さ、滑稽さ！
一家に一册、円満繁昌の福の神！

昭和十七年十二月七日　土曜日　新日本新聞　第一万二千八百二十號

何、蕭兩氏の合作で
圓滿解決の曙光見ゆ
日本當局と折衝を始めん
期限付最後通牒を
宋氏が何氏に叩付く
蕭氏を居仁堂に派して

喜多大佐北支へ
我陸軍最後案を携行

閑院參謀總長宮樣御參內

二笠宮殿下御西下

蔣氏の行政院長兼任遂に實現
國府の新陣容

蔣氏獨裁成る

英外相近く佛首相と會見
伊エ紛爭解決に付

灣糖運賃引上げきのふ決定
豫想より上げ幅狹し

拓務省査定の—
督府明年度豫算
きのふ大藏省へ廻付

定例閣議

謝介石大使十六日離臺
六日出北、寺內大將に挨拶

チリーより經濟視察團

和平解決樂觀論
何等根據はない
伊政府代辯者の談

平塚長官著京

日滿郵便業務條約
案閣府で可決

香港政廳の爲替管理條令

エ軍總逆襲
皇帝御決意

高千穗丸よりリ

熱帶農學會總會と講演

當選御禮　松山　詹

當選御禮　木村　財

當選御禮　陳　培悠

内科小兒科呼吸器病科　淺井醫院

◉齒痛に頭痛はガオガンに限る◉

精工舍電氣時計臺灣總代理卸店　マツダ電氣時計辨理店　臺北市榮町　電話八二一番

錄野時計舖　時計を筆頭に萬七セット類目先が變つた　床置物……　花瓶類、錫製品類、貴金屬一式　御贈答好適品大豐富　錄守田洋行　錄野時計舖南門支店

本日肉食デー　内地向各等一割引　三十五錢　内地向　鳥伊

小兒科　レントゲン　内科　病室備　太平山莊　オホイソトモアキ

甘露名物　平戸蒲鉾部　三三・九番

◉印入タオル調製　タオル專門卸商　山陽商會

金線　タルミ　KINSEN BRAND CONDENSED MILK

楓白蔭　酒　醸元　株式會社　辰馬本家酒造

內地行便船

大阪商船會社　大連汽船株式會社　辰馬汽船株式會社　近海郵船株式會社

臺北商店街の飾り窓を見る

全體的にまだ〳〵の感深し

(二)　記者

金を取して其の日其の日の變化のない國民にすれば仕方がないがメンズルートにシヨーウインドーを持つてゐる店であればさらにかうした方面にも一段と研究的努力が必要と感じられる、各種商店と關聯して關係員も一緒に研究してゐるやうだが、殊に裝飾部の責任でもあるが、良心的にもつと商品對

◇背景を拵いたら後の商品陳列に對して壁となれ山となれでは商品に對する觀衆者の注意力も薄弱、折角の勞作であるべき裝飾の價値も認められなくなる、

一體に陳列方法と裝飾に於ける關聯といふ事も餘り考へてゐるもののやうに思はれない、だからシヨーケースの商品陳列のみ整頓に目について商品が全然目につかないものもあつた、これでは商品に對する觀衆者にはガラスと云ふ障壁がある以上は、色彩效果と云ふ點から見ても又照明法などからも餘り感心出來なかつた、又陳列の場合

都會化粧（第十四回）

(152)

岸田國士

田中良畫

東京の夜（五）

どんな關係があるのか、といふことを飛び越して、すべての眞相が生々しく彼女の感覚に迫つて來た。

しまつた、あの教育といふ男は、實は刑事だつたのだ！

さう直ぐさまピンときた。彼女は眼を輝やかした。が、瞬間、彼女はわれに返つて、自分が、なんのために此處に呼び出されるのか、それがわからなくなつた。

「それで、教師さんは何處にゐらつしやるんです？」

と、何氣ない振りで聞いてみると、

「それで、君はその證據といふものを、どこかに持つてゐるんだね！」

と、どうも、關係がうまくのみこめない。

「だつて、關係つて、ただそんからの知り合ひなんですもの……」

と、彼女は、明かに彼女自身の感覚を、わざと鈍らせようとするかのやうに、

「だつて、これ、おたくの髪の毛ですもの……」

「それや、女の髪の毛だつて？　なんだつて、君はそんなものを受取る理由があるんだい？」

「これですか……」

と、彼女は、明かに彼女自身の感覚を、わざと鈍らせようとするかのやうに、

「だつて、これ、おたくの髪の毛ですもの……」

午後の部

【二・一五】正午の時報（東京通信）
【一二・〇〇】放送局報（東京）
【〇・〇一】農事實況（東京）
【〇・〇五】ニュース（東京）
【〇・一〇】農事講話（東京）
【〇・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【〇・三〇】講演（東京）
【〇・五〇】ニュース（東京）
【一・〇〇】天氣豫報（東京）
【一・〇一】ラヂオ・レコード（東京）
【一・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一・三〇】講演（東京）
【一・五〇】ニュース（東京）
【二・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二・三〇】講演（東京）
【二・五〇】ニュース（東京）
【三・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【三・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【三・三〇】講演（東京）
【三・五〇】ニュース（東京）
【四・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【四・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【四・三〇】講演（東京）
【四・五〇】ニュース（東京）
【五・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【五・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【五・三〇】講演（東京）
【五・五〇】ニュース（東京）
【六・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【六・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【六・三〇】講演（東京）
【六・五〇】ニュース（東京）
【七・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【七・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【七・三〇】講演（東京）
【七・五〇】ニュース（東京）
【八・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【八・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【八・三〇】講演（東京）
【八・五〇】ニュース（東京）
【九・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【九・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【九・三〇】講演（東京）
【九・五〇】ニュース（東京）
【一〇・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一〇・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一〇・三〇】講演（東京）
【一〇・五〇】ニュース（東京）
【一一・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一一・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一一・三〇】講演（東京）
【一一・五〇】ニュース（東京）

夜間の部

【一二・〇〇】天氣の時間（東京）
【一二・〇一】農事實況（東京）
【一二・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一二・三〇】講演（東京）
【一二・五〇】ニュース（東京）
【一三・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一三・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一三・三〇】講演（東京）
【一三・五〇】ニュース（東京）
【一四・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一四・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一四・三〇】講演（東京）
【一四・五〇】ニュース（東京）
【一五・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一五・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一五・三〇】講演（東京）
【一五・五〇】ニュース（東京）
【一六・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一六・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一六・三〇】講演（東京）
【一六・五〇】ニュース（東京）
【一七・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一七・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一七・三〇】講演（東京）
【一七・五〇】ニュース（東京）
【一八・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一八・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一八・三〇】講演（東京）
【一八・五〇】ニュース（東京）
【一九・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一九・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【一九・三〇】講演（東京）
【一九・五〇】ニュース（東京）
【二〇・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二〇・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二〇・三〇】講演（東京）
【二〇・五〇】ニュース（東京）
【二一・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二一・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二一・三〇】講演（東京）
【二一・五〇】ニュース（東京）
【二二・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二二・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二二・三〇】講演（東京）
【二二・五〇】ニュース（東京）
【二三・〇〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二三・二〇】ラヂオ・レコード（東京）
【二三・三〇】講演（東京）
【二三・五〇】ニュース（東京）

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操
今日の天氣のお知らせ（東京）
【七・〇〇】天氣豫報（東京）
【七・三〇】ラヂオ體操（東京）
【八・〇〇】商況（東京）
【八・三〇】天氣豫報（東京）
【九・〇〇】天氣豫報（東京）
【九・三〇】ラヂオ體操（東京）
【一〇・〇〇】天氣豫報（東京）
【一〇・三〇】ラヂオ體操（東京）
【一一・〇〇】天氣豫報（東京）
【一一・三〇】ラヂオ體操（東京）
【一二・〇〇】天氣豫報（東京）

雜誌紹介

▲中央公論＝十九の十一＝農村救濟と其の實現方策（大藏省・農林省・内務省）＝大日本産業組合の使命（平野力三氏）＝石田孝氏）＝農村救濟の根本問題（石田孝氏）＝農村救濟の實際問題（石田孝氏）＝農村救濟の實際問題（石田孝氏）＝農村救濟の實際

アミ族が一番優れてゐるやうだ

東部蕃族の體質調査を終了した西岡教授語る

研究されてゐないやうである、記者は今回の調査に依れば蕃族の體格は一般的に優秀で特に男女共に胸圍の發達が著しく良好である事を發見した、尚ほ

懸賞のオウデン

年賀状優用全愛読者と大景品抽籤買ひ

水谷八重子さんから——
坂東好太郎さんから——
山路ふみ子さんから——

一九三六年を祝福
あなた様へ寫眞年賀狀を……

山路ふみ子さんから
美しいブロマイド年賀狀が
あなたの元旦に届きます。

水谷八重子さんの
郵春第一信は
あなた様へ

ウテナ雪印クリーム
三十匁、六十匁

ウテナ花印クリーム
五十匁、一圓十匁

特別賞品

（抽籤贈呈）

一等　小濱縮緬　訪問着　壹百名樣
二等　特製　伊達卷　壹千名樣
三等　水谷八重子演劇物語　山路ふみ子映畫物語　何れか一冊宛　壹萬名樣

特別賞品の主なる當籤者は明春二月中東京日日、大阪朝日の兩新聞に發表します。年賀狀以外の賞品は、明春贈呈します。

下記規定により
いますぐ、お申込み下さい。

締切迫る

規定

一、水谷八重子さんから
二、阪東好太郎さんから
三、山路ふみ子さんから
四、オール女性（小雜誌）
五、ウテナ化粧品試用型

名を明記、必ず封書（手紙と同じ）で左記へ郵送して下さい。

東京本郷區本郷二丁目　**ウテナ本舗懸賞係**

締切後到着の分は抽籤に洩れます。

同封の年賀狀その他で優待、更に抽籤で特別賞品を贈呈します。

郵税不足はお断りします。

十二月二十日限り

日本晴れのきのふ
寺内大將離臺す

多數官民に見送られながら
車中にて一首ひねる

軍事參議官に親補の勅令に接した寺内大將は、六日午前八時半、官邸内大廳の一室に、官邸詰の將校、官邸内大廳の一室に、官邸詰の將校、官邸内大廳の一室に、官邸詰の將校

臺北州市街庄協 解國語程度增一分 民選比官選多不解

改正制度之臺北州下街庄協議會員，能解國語程度，經州地方課調查中。此次已完成。在新制度下之協議會員四百五十七名中，能解國語者百二十一名。約其百分之成七分。向上一年。其率二成八分。比舊制度之二成七分。然而新制度下之不解國語者。反增二成二分。而民選之結果。又超過官選三成之奇現象。又新設之協議會員。解國語程度下協議會員一，能解國語者百二十六名。二，稍解者二十六名。三，不解者七十六名。計二百五十二名。

玉井製糖所 擴張增產 宜蘭不製白糖

昭和製糖。鑒於產糖增加，內地精糖日漸增進，因內定於宜蘭製糖所，作白糖設置。乃投資金五十五萬圓。擬定明春興工。內地之砂糖消費狀況，意外正盛。一時明新糖早食。而新今則決議追加供給。而新糖早食。明年已無過剩之虞。若照計期。以百八十萬擔輸出為外。可增加有百萬擔之不足。昭和不必巨資使之固定而遊白糖。然後輸出為外。前問上京之山根總裁。與赤司社長洽商。決於本月內。改作白糖。

臺南州下 山道開鑿 預算按二萬圓

臺南州當局。自數年來。

臺灣產豚輸出香港 銀暴落採算不和盤 至前月末日始見斷絕

客年八月十五日。依銀貨大。然中絕。此間輸出凡一年。關係。臺灣產生豚。由高雄港。輸出于香港市場甚夥。

新營新設 臨糖工場

鹽水港製糖。舊者實施土地改良事業。原料產額大增。製糖場增設一處之事。業自由中國國內事情。咸謂日本謀以武力干涉。全無根據之說。日本本津駐屯軍。現狀定員以下。然自現地方面情報。傳最近自治運動。日本人介在其間。又日本軍。亦有關自治運動。此等報道。深使英國政府。危懼之。現在華北情勢。極其吾遂。余信日華兩國政府間。所行會談。和本解釋。可得相

華北近況

東京六日電。六日定例閣議。午前十時三十分。閣下御參內。退下御前會議。定例閣議 陸相報告

照宮殿下

滿御十歲御誕辰。列御內儀御祝宴。東京八日電。女子學習院前初四午御。在學中第一皇女照宮成子內親王殿下。八日御誕辰。滿御十歲。殿下今朝照御不常。御通學女子事。院。午後一時半過。御還啓。御門。御車寄。受。其他近侍武官。奉迎。皇太子殿下。御成。御玄關。御式後。御參內。御拜謁。皇后陛下。御成。御玄關。御式後。御參內。御拜謁。皇后陛下。御成。御玄關。御式後。御參內。御拜謁。皇后陛